

スケボーパークとふるさと納税

昨年12月のさきがけ新聞に、「スケボーパークの整備資金にクラウドファンディング（クラファン）型ふるさと納税を活用する」との記事が掲載されました。そこで、まずは市がスケートボードパークを整備することにした背景をお話したいと思います。

■スケボーパーク整備の背景

市内にはスケボーを愛好する人たちが少なからずいます。日頃、彼らは手作りで障害物等を準備してスケボーを楽しんでいます。私も時々その姿を見て「楽しそうだな」と感じていました。ところが、「楽しそう」だけでは済まないことがあると後に知りました。スケボーの摩擦音が住民を悩ませていたのです。スケボーが出す音を聞いたことがある人はわかると思いますが、ガガガーという摩擦音は決して心地いいものではありません。それは、環境権を脅かす騒音になりうるものです。実際、市に対して事態の改善を求める要望や、「寝られないう」といった直接的な訴えが寄せられていました。

この手の問題は大変難しく、悩ましい問題の一つです。なぜなら、確かに行政は市民の暮らしを守るうえで、トラブルの原因を取り除く役割と権限があるわけですが、他方で行政が私人間の紛争に介入するのは望ましくないといったことに加え、誰しもが納得できる解決策がなかなか見つからないのが一般的だからです。最近、県外他市において、地元住民が

子どもたちの遊び声を騒音と訴えたことで、遊び場としての公園が廃止されることになったとの報道がありました。伝えられた内容を聞いただけではありますが、この顛末では誰も幸せになっていないのではないかとこの疑問を持っていました。まさにこれと同じ疑問がこのスケボーの件を聞いたときに思い浮かんだのです。

■クラファン型ふるさと納税を活用

今回のスケボーの件について、私は代替場所を準備することで事態を収められればと考えました。とは言え、お金のかかることです。予算を含めた計画の検討など完成までに3年はかかります。ところが、にかほ市にとって幸運な追い風が吹いてくれました。それは東京オリンピックでの日本スケボー勢の大活躍です。結果を見た政府がスケボーの普及を後押しする姿勢を示してくれたおかげで、市の計画がトントン拍子に進んだのです。ただ、迅速であるがゆえに最初から予算を大きくとることができませんでした。まずは助成上限の枠内で整備をしていこうということになりました。同時に次年度以降の資金確保の手段の検討を行い、その結果採用されたのがクラファン型ふるさと納税だったのです。

報道のように、クラファン型ふるさと納税による寄付額は目標額をはるかに超えるものとなりました。最終的に目標額の約8倍、1億6千万円超の寄付をいただくことができました。今後、返礼品代



にかほ市社会福祉協議会 訪問介護事業

歳を重ねても笑顔で生活できる！
毎日に寄り添ったサポートを！

にかほ市社会福祉協議会にはさまざまな事業があります。私たちが訪問介護の仕事をしています。訪問介護とは、利用者さんの自宅へ伺って調理や掃除、入浴介助やオムツ交換など日常生活をサポートする仕事です。本人の力を衰えさせないようにするための自立支援もしていて、ご飯の支度や片づけなど、利用者さんを手伝いながら一緒にすることもあります。「おいしかった」「ありがとう」「また来てね」など感謝の言葉をもらった時にやりがいを感じますし、けがなどで一時的に利用された方などに「もう訪問介護は不要だ」と言われた時は、元氣になってよかったです。嬉しいですね。

訪問介護は、なんとなく「大変そう」「自分にできるかな」と不安に思う方もいるかと思いますが、私たちも初めはそうでした。実際は、きちんとした決まりの中で行うサービスなので大丈夫です。利用者さんに家事のやり方を教えてもらうこともありますし、自分の学びにもつながっています。利用者さんは高齢の方が多いこともあり、若いスタッフは特に孫のように温かく接してもらっていますね。

利用者さんを訪問する際は主に一人ですが、事務所では和気あいあいとした雰囲気です。わからないことは何でも気軽に相談でき、困った時はみんなで話し合っ解決したりと、男女ともに働きやすいとても良い職場環境です。勤務は基本平日で、急な用事の際も職員同士で連携するので休みも取りやすいです。

このにかほ市で人助けをしたい、介護をやってみたくて若い方がいたら嬉しいです。ぜひ一緒に働きましょう！

企業情報

にかほ市社会福祉協議会は「社協」と呼んでいただき、地域に根付いたさまざまな活動を行っています。訪問介護は仁賀保・金浦・象潟の3支所があり、地域ごとに各支所のホームヘルパーが訪問に伺っています。他の事業や多職種とも連携し、皆さんが住み慣れた自宅で自分らしく生活を続けていけるようサポートしていきますので、困った時は「社協」を頼ってください。

- ▶所在地 にかほ市平沢字鳥ノ子淵47-1
- ▶事業内容 訪問介護、短期入所生活介護、通所介護、居宅介護支援 他、社会福祉活動全般
- ▶従業員数 116人(うち男18人・女98人)
- ▶電話 0184-32-3020
- ▶Eメール bz092172@bz01.plala.or.jp



や諸経費を除く約半分を使ってパーク完成に向けて取り組んでいくことになりました。ご寄付いただいた方々に改めて感謝申し上げます。

■気づかされたこと

実は、今回のスケボーパーク整備事業の前に、小砂川漁港の浚渫事業にもこのクラファン型ふるさと納税を活用していました。そこでも目標額を大幅に超える約3千8百万円の寄付をいただいたという実績がありました。

そもそもふるさと納税とは、寄付者が応援したい自治体に寄付をするという仕組みで、その使途は寄付した自治体にはば委ねられています。一方のクラファン型ふるさと納税は、自治体が事業ごとに細かく使途を明確にしながら寄付をお願いすることから、寄付者の意思を反映しやすいものとなっています。

つまり、クラファン型ふるさと納税は、寄付者のふるさとを応援したいという気持ち、寄付したお金を有効に活用してもらいたいという思いを反映しやすいものとなっているのです。このように人々の愛郷心との適合性を測るバロメーター、それがクラファン型ふるさと納税なのだと思います。



にかほ市長
市川雄次

市政運営から日常の出来事まであらゆるテーマをコラムにしています。過去のコラムは市HPからご覧いただけます。



にかほ市移住・Uターン・お仕事支援ポータルサイト



「にかほbiz」に掲載する事業所を募集しています！

若者や女性の採用に積極的な事業所やイチ押しの魅力などを持っている事業所を紹介します。申し込みは商工政策課(☎43-7600)まで！